

## 1. 熊本県地域医療支援機構（熊本大学病院 地域医療支援センター）

### 【論文、執筆】

- Masaharu Akao, Hikari Tsuji, Kengo Kusano, Kunihiko Matsui, Shinya Hiramitsu, Yutaka Hatori, Hironori Odakura, Hisao Ogawa. Clinical characteristics and outcomes of Japanese atrial fibrillation patients with poor medication adherence: A sub-analysis of the GENERAL study. Journal of cardiology. 2023. 81. 2. 209-214
- Eiichiro Yamamoto, Hiroki Usuku, Daisuke Sueta, Satoru Suzuki, Taishi Nakamura, Kunihiko Matsui, Kenichi Matsushita, Tomoko Iwasaki, Naritsugu Sakaino, Toshihiko Sakanashi, et al. Efficacy and Safety of Esaxerenone in Hypertensive Patients with Left Ventricular Hypertrophy (ESES-LVH) Study: A Multicenter, Open-Label, Prospective, Interventional Study. Advances in Therapy. 2024. 41. 3. 1284-1303
- Masahiro Sugawara, Sunao Kojima, Ichiro Hisatome, Kunihiko Matsui, Kazuaki Uchiyama, Naoto Yokota, Eiichi Tokutake, Yutaka Wakasa, Shinya Hiramitsu, Masako Waki, et al. Impacts of Febuxostat on Cerebral and Cardiovascular Events in Elderly Patients with Hyperuricemia: Post Hoc Analysis of a Randomized Controlled Trial. Clinical pharmacology and therapeutics. 2024
- 高本 文明、高柳 宏史：著書の執筆内容について監修・助言、ことばの点滴：医療Q&A(下)、熊本日日新聞社(出版)、258-275, 2023
- 医療系AIガイドライン作成チーム(大西 弘高, 佐瀬 雄治, 森田 瑞樹, 高柳 宏史, 大野 每子)、プライマリ・ケアにおけるAI利用ガイドライン - プライマリ・ケア医におけるAI利用の可能性と注意点 -

### 【研究】

- 松井 邦彦(分担研究者)、基盤研究(C)「臨床現場での多重課題における意思決定要因の解明」(研究代表者：小山 博史)、研究期間：2020-04-01-2025-03-31
- 松井 邦彦(分担研究者)、基盤研究(C)「粒子状物質による急性心筋梗塞や院外心停止の発症および発症メカニズムの解明」(研究代表者：小山 博史)、研究期間：2021/04/01-2024/03/31
- 松井 邦彦(研究開発分担者)、「日本医療研究開発機構 研究公正高度化モデル開発支援事業 医療分野の「責任ある研究・イノベーション(RRI)」推進に資する取り組み」、研究期間：2022/12/01-2025/03/31

### 【学会発表】

- Michito Sadohara, Kunihiko Matsui. What Perspectives do U.S. Hospitalists who had Clinical Training in Japan have toward Introduction of Hospitalist Services for the Work Style Reform in Japan? A Qualitative Interview Study. Society of General Internal Medicine Annual Meeting 2023. May 10-13. Aurora, Colorado. (Poster presentation)
- Michito Sadohara, Hiroshi Takayanagi, Kunihiko Matsui. The educational impact of fieldwork and lodging trip for medical students who have obligation to work at rural area. WONCA 2023. October 26-29. Sidney, Australia. (Oral presentation)
- 西村 理恵, 植田 真一郎, 松井 邦彦, 佐土原 道人, 東恩納 美樹, 作間 未織, 森本 剛、「臨床医学系学会における研究公正・倫理教育の現状と課題」、医学教育学会、2023/07/28-2023/07/29、長崎市、(口演)
- 阿部 貴美香, 高柳 宏史, 園川 仁美, 古池 雅明, 松井 邦彦, 「ここ、熊本で医師になること～地域医療広報誌Cocodeを通して～」、第14回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2024、2023/05/12-2023/05/14、豊田市、(ポスター)
- 平木 亨弥, 高柳 宏史, 永野 心, 松岡 りほ, 松井 邦彦, 「コロナ禍の中でつなげる～熊本大学の地域医療ゼミの取り組み～」、第14回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2024、2023/05/12-2023/05/14、豊田市、(ポスター)

### 【講演会、講師】

- 高柳 宏史、「総合診療の専門性とは～家庭医療学の分野から～」、第3回熊本地域医療勉強会、2023/06/23、(講演)
- 高柳 宏史、「総合診療医のためのメンタルヘルスケアの基礎」、第91回 KOPe 定例会、2023/10/18、(講義)
- 高柳 宏史、「災害の地域への影響～熊本地震、水俣病～」、長崎大学・福島県立医科大学共同大学院 災害・被ばく医療科学共同専攻(修士課程)医学科コース「地域医療学」、2023/12/20、(講義)
- 高柳 宏史、「共に築くプライマリ・ケアとは～2つの事例をとおして～」、令和5年度臨床検査講習会、2024/01/14、(講演)
- 高柳 宏史、「海外と比較でミエル！日本の総合診療医！」、Dr. Prime Academia レクチャー、2024/01/31、(講演)
- 高柳 宏史、「日常診療におけるポリファーマシーに対する合理的な減薬の一手」、2023年度日本プライマリ・ケア連合学会熊本県支部講演会・総会、2024/02/17、(講演)
- 高柳 宏史、「ICPC-3について」、日本プライマリ・ケア連合学会オンラインICPCセミナー、2024/03/20、(講義)

## 2. 地域医療・総合診療実践学寄附講座

### 【論文、執筆】

- Kosuke Ishizuka, Kiyoshi Shikino, Akira Kuriyama, Yoshito Nishimura, Emiri Tanaka, Saori Nonaka, Michito Sadohara, Mitsuru Moriya, Noriko Yamamoto. A proposal for coping strategies on burnout among Japanese resident physicians. Journal of General and Family Medicine. Vol. 25, p 83-84, 2024

### 【研究】

- 荒木 智、基盤研究(C)「トレハロースによる腸-脳-心連関の解明」、研究期間：2022/04/01-2025/03/31
- 佐土原 道人、「地域医療研修による研修医のレジリエンスの変化に関する質的研究」、研究期間：2018/08/20-2025/03/31
- 佐土原 道人、「働き方改革のためのホスピタリスト・システムの導入に対し、米国で働く日本人ホスピタリストはどのような見方をしているか?」、研究期間：2018/09/20-2025/03/31
- 佐土原 道人、「地域医療研修による研修医のレジリエンスの変化に関するアンケート調査」、研究期間：2019/06/21-2025/03/31
- 佐土原 道人、「研修医のストレスに関する実態調査」、研究期間：2018/07/20-2023/03/31
- 佐土原 道人、「研究倫理と公正に係る患者・市民参画(PPI)に関する質的研究」、研究期間：2023/12/05-2025/03/31
- 佐土原 道人、「ポストコロナの地域医療特別実習の教育的効果とコミュニティへの視点に関する研究」、研究期間：2023/11/22-2025/03/31
- 佐土原 道人、「日本医療研究開発機構 研究公正高度化モデル開発支援事業 医療分野の「責任ある研究・イノベーション(RRI)」推進に資する取り組み」、研究期間：2022/12/01-2025/03/31
- 北村 泰斗, 佐土原 道人(研究開発分担者)、「軽症・中等症として入院したCOVID-19患者における入院長期化の関連因子」、研究期間：2022/12/05-2029/03/31

### 【学会発表】

- Michito Sadohara, Kunihiko Matsui. What Perspectives do U.S. Hospitalists who had Clinical Training in Japan have toward Introduction of Hospitalist Services for the Work Style Reform in Japan? A Qualitative Interview Study. Society of General Internal Medicine Annual Meeting 2023. May 10-13. Aurora, Colorado. (Poster presentation)
- 佐土原 道人、「レジデント(研修医)のバーンアウトーいかに防ぎ、いかに救うかー「Wellbeing 2.0」」、ACP(米国内科学会)日本支部年次総会・講演会2023、2023/06/24、オンライン、(オンライン講演)

- Michito Sadohara, Hiroshi Takayanagi, Kunihiro Matsui. The educational impact of fieldwork and lodging trip for medical students who have obligation to work at rural area. WONCA 2023. 2023/10/26-2023/10/29. Sidney, Australia. (Oral presentation)
- 西村 理恵, 植田 真一郎, 松井 邦彦, 佐土原 道人, 東恩納 美樹, 作間 未織, 森本 剛, 「臨床医学系学会における研究公正・倫理教育の現状と課題」、医学教育学会、2023/07/28-2023/07/29、長崎市、(口演)

#### 【講演会、講師】

- 佐土原 道人, 「社会が求める医師の臨床能力とは、臨床研修の問題点への対応」、第22回熊本大学病院群臨床研修指導医研修ワークショップ、2023/12/01-2023/12/02、(タスクフォース)
- 佐土原 道人, 「医師臨床研修制度の理念と概要、臨床推論を引き出すプレゼンテーションの指導、臨床研修現場での評価とポートフォリオ、指導医に必要な医療安全・労務管理の知識、フィードバックセッションの体験」、第29回徳洲会グループ臨床研修指導者養成講習会、2023/12/16-2023/12/17、(タスクフォース)
- 佐土原 道人, 研修評価、2023年度全日病・臨床指導医講習会、2024/01/14, 2024/01/28、(タスクフォース)
- 佐土原 道人, フィードバック, 研修方略、令和5年度臨床研修指導医講習会(全国自治体病院協議会)、2024/02/03-2024/02/04、(タスクフォース)
- 佐土原 道人, 研修方法と研修評価、令和5年度第1回看護師特定行為指導者講習会(全日病)、2023/09/10、(タスクフォース)
- 佐土原 道人, 研修方法と研修評価、令和5年度第3回看護師特定行為指導者講習会(全日病)、2023/11/19、(タスクフォース)

### 3. 教育拠点（くまもと県北拠点・河浦拠点）

#### 【論文、執筆】

- Shimanaga S, Oyama K, Takaki Y, Miyagi T. Usefulness of Fecal Calprotectin in Differentiating Inflammatory Bowel Disease in a Young Patient with Autism Spectrum Disorder. Journal of Hospital General Medicine. 2024

#### 【学会発表】

- Kohta Oyama, Sadahiro Tamiya. Thai medical students studying community medicine in Kumamoto Prefecture, Japan. WONCA World Conference. 2023/10/26-2023/10/29. Sidney, Australia. (ポスター)
- 鶴田 真三, 「若手医師が国診協施設にたどり着く理由」、全国国保地域医療学会、2023/10/7

#### 【講演会、講師】

- Kohta Oyama. Healthcare for the Elderly in Japan. School of Medicine Annual Scientific Conference 2023. 2023/12/13-2023/12/15. (口演)

### 4. 総合診療科 医局員・専攻医

#### 【論文、執筆】

- 平賀 円, 「病院総合医チームPresents実践！使える論文MyTop5-超高齢者医療編-」、プライマリ・ケア(一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会発行)、page72-74 Vol.8 No.4 2023

#### 【学会発表】

- 松田 圭史, 「Potential use of new generation of immunomodulatory imide drugs (IMiDs) against IMiDs resistant multiple myeloma.」、第82回日本癌学会学術総会、2023/09/21-2023/09/23、(ポスター)

- 平賀 円、「施設看護スタッフとの連絡ツールにグループチャットを導入した事による変化について」、第27回日本病院総合診療医学会学術総会、2023/08/26-2023/08/27、東京、(口演)
- 平賀 円、「山間部の地域中核病院で経験したツツガムシ病の5例のまとめ」、日本プライマリ・ケア連合学会 第18回九州支部総会・学術大会、2024/01/20-2024/01/21、宮崎、(口演)
- 下地 徹、「在宅看取りにおける緊急時対応を向上させるための取り組み～当院での看取り本と在宅患者確認表の導入～」、日本プライマリケア連合学会九州支部総会・学術大会

**【講演会、講師】**

- 平賀 円、「私の考える総合診療～専門医第一期生の目線から～」、熊本県医師会令和5年度日本医師会生涯教育講座、2024/02/24、(口演)